

低山

Low Mount Club

'22.5 No.683

創立60年の歴史 **低い山を歩く会**

<http://yamajp.com>

会員総数・61名 (2022・5・1現在)

《目次》

5月号の山行プラン・・・2～4

山行ルポ・・・・・・・・・・・・4～7 焼山～二子山／越谷宿と越谷梅林／入山尾根から舟子尾根／川越街道藤久保周
辺／鐘が岳から不動尻のミツマタ群生地／北本の桜めぐり／幸手宿と権現堂堤

低山だより・・・・・・・・・・・・8 故坂井郁子さん追悼文



6A/24日 総会

INFORMATION

5月の編集委員会 5月9日(月)15時
5月の集会・役員会 5月25日(水)15時

会場:IKE・Biz
(としま産業振興プラザ)
電話:03-3980-3131

◎3月の集会・役員会出席者・・・18名 ◎3月の編集委員会・・・6名

◇山行届・事務報告などあらゆる山行の連絡は リーダーキャップ 熊澤美恵子

電話 090-5318-0292 メール: qqqu9ss9K@basil.ocn.ne.jp

◇集会などに関する問い合わせは 企画キャップ 山本悦子

電話&FAX 03-3903-7535

◇会費の納入などに関する問い合わせは 会計キャップ 眞鍋雅光

電話&FAX 03-3302-2987 (携帯 090-9300-4736)

会費振込先 郵便振替口座記号番号 00150-8-291146 口座名称 眞鍋雅光(マナベ マサミツ)

◇入会・退会・住所変更・会報の発送その他の連絡は 総務 井上恵子

電話&FAX 047-384-0347

◇ホームページに関する問い合わせは ホームページキャップ 三ツ谷征志 (電話は下記)

◇編集に関する問い合わせは 編集キャップ 三田村久子 03-3630-0988 携帯 090-9239-2105

緊急連絡先

- ◆阿武信夫(会長) 電話&FAX 048-822-7228 携帯:090-5429-1685
- ◆熊澤美恵子(リーダーキャップ) 電話&FAX 042-492-6971 携帯:090-5318-0292
- ◆三ツ谷征志(遭対キャップ) 電話&FAX 042-324-5854 携帯:090-6021-1457
- ◆村川征津子(保険担当) 電話 03-3828-5207

5月の山行プラン

★10053回

日光開山の道 薬師岳から地蔵岳～古峯神社へ
A 上級

期日 5月7(土)～8日(日)

集合・出発 JR 新宿駅 7時 22分発 宇都宮行(大船始発)(大宮駅 7時 52分発) 9時 14分 宇都宮着 同発 9時 36分日光行 10時 18分日光着 10時 37分発湯本行バス乗車

地図 昭文社/日光

持物 一般登山用具

コース 日光(バス)=竜頭滝上-高山-小田代原-滝上(バス)=中禅寺湖

「おかじん」泊 夕食のみ 7千円位

TEL 0288-55-0410

各自朝食 4時出発-茶の木平-細尾峠-薬師岳-ミツ目-夕日岳往復-地蔵岳-古峯神社(バス)=JR 鹿沼駅

歩程 3時間/8時間

ポイント 一日目は足慣らしで軽く歩き、翌日は禅頂行者道のロングコースを少し早いかと思いますが、ヤシオツツジを楽しみ頑張って神社まで歩きます。

申込み 5月3日(火)まで

リーダー 熊澤恵美子 携帯 090(5318)0292

備考 東武電車利用に場合、バスに間に合うように。一日目が雨天でも2日目が雨天でなければ実施します。

★10054回

野川散歩 A 級

期日 5月12日(木)

集合・出発 JR 西国分寺駅改札前 9時

地図 別途配布

コース 西国分寺駅-黒鐘公園-国分寺跡-源水

地-野川-滄浪泉園-武蔵小金井駅

持物 ウォーキング用具

歩程 2時間

ポイント 野川の川辺を歩いて野花を見てみたい。近隣在住の横塚征一郎さんのガイド付き

申込み 5月11日(水)まで

リーダー 三ツ谷征志 042(323)5854

★10055回

小仏城山 A 中級

期日 5月15日(日)

集合・出発 JR 高尾駅 小仏行バス 出発 9時 12分

地図 昭文社/高尾

持物 一般登山用具

コース 日影バス停-キャンプ場取付-(鉄塔尾根)-小仏城山-一丁平-いろはの道-日影

歩程 約4時間

ポイント 新緑の山歩き。タラの芽を途中採り-一丁平で天ぷらにし、共同で海鮮うどんを作ります。

申込み 5月13日(金)まで

リーダー 藤田勝平 090(1458)7850

備考 共同持物あります。ケーブルカー下山可。また希望者で下山後打上げします。

第10056回

鷹取山・小淵山・岩戸山 A 中級

期日 5月21日(土)

集合・出発 JR 高尾駅 9時 24分発 甲府行き後方車内。

上野原駅 9時 46分発 井戸行きバス乗車

地図 1/2.5万図/ 与瀬

昭文社/ 高尾・陣馬

持物 一般登山用具

コース 上野原駅(バス)=沢井入口-鷹取山登山口

-金比羅山-鷹取山-小淵山-小淵峠-岩

戸山-藤野神社-藤野駅

歩程 3時間弱

ポイント 過去にプランを出して中止した山。

藤野 15名山の2つを含む、小さなコブが連

なる尾根を行く。樹林帯の新緑がきれいで

しょう。ツツジでも咲いていればなお良い。

申込み 5月19日(木)まで

リーダー 服部千重子 03(5934)6131

080(1076)1510

★10057回

西沢渓谷 A 中級

期日 5月29日(日)

集合・出発 JR 中央線 塩山駅 9時 5分発 西沢渓谷

行バス発着場

参考:高尾駅始発 7時 39分 小淵沢行 塩

山着 8:59

地図 昭文社/金峰山・甲武信、1/2.5 万図
 金峰山、雁坂峠
 持物 一般登山用具
 コース 塩山駅(バス)＝西沢溪谷入口＝二俣＝七ツ釜・五段の滝＝子西橋＝西沢溪谷入口＝塩山駅
 歩程 4 時間
 申込み 5 月 26 日(木) 048(822)7228
 090(5429)1685
 anno.nobu@ybb.ne.jp
 SL 網代節子 03(3636)4793
 備考 西沢溪谷入口バス時刻表
 13:10、14:40、15:40
 バス料金 片道1,050円

**低い山を歩く会創立 60 周年記念山行
 (2022 年度春季集中山行)のご案内**

貸切バスによる山行です。日頃顔を合わす機会の少ない方々と交流できる良い機会です。また、なるべく多くの方々に参加していただけるよう日曜日に設定しました。会員の皆様、万障繰り合わせの上、ふるってご参加ください。

期日 2022 年 6 月 5 日(日)
 場所 北八ヶ岳"麦草ヒュッテ"周辺下記5コース
 集合 IKE・Biz(集会所前) 6 時 45 分
 出発 7 時(時間に遅れないようお集まりください)
 帰着バス 麦草ヒュッテ 3 時出発予定
 持物 一般登山用具
 地図 昭文社/八ヶ岳 1/2.5 万図/蓼科
 申込 各コースリーダー 5 月 26 日まで
 *貸切バス料金は基本的に会が負担します。状況が大きく変化した場合は応分の負担をお願いする場合があります。

イーストヤング

その1
 ★10058 回 麦草峠から茶臼山・縞枯山 A 中級

コース 麦草ヒュッテ＝麦草峠＝大石峠＝茶臼山＝展望台＝縞枯山＝茶臼山＝麦草峠＝麦草ヒュッテ
 歩程 3 時間
 ポイント 木々の目覚め・山笑うを実感しましょう。
 リーダー 阿武信夫 048(822)7228
 090(5429)1685
 anno.nobu@ybb.ne.jp

その2
 ★10059 回 白駒池 A 級

コース 白駒池入口でバス下車＝白駒池一周＝白駒池入口＝麦草峠
 歩程 1 時間 30 分
 時間が余るようだったら麦草峠＝大石峠往復時間 40 分
 リーダー 森田準之助 04(2946)3011
 090(1105)5633

その3
 ★10060 回 麦草峠周辺逍遥 A 中級

コース 麦草峠＝白駒池周回＝高見石小屋＝丸山＝麦草峠(3 時間)＝大石峠＝オトギリ平＝出逢の辻＝狭霧苑地＝斧断ちの森＝麦草峠(2 時間)
 歩程 5 時間
 ポイント 深い森や神秘的な湖を探訪。コース前半(3 時間)のみ参加でも可。なお、コース後半の大石峠周辺はバス時間、天候、体力などを考慮して中止、コース変更等があります。
 リーダー 今西光輝 03(6780)1792
 080(2043)9897
 SL 服部千重子 03(5934)6131
 080(1076)1510

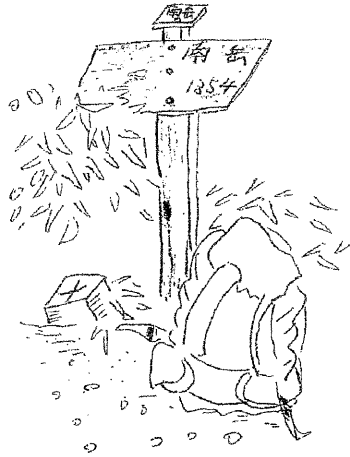
その4
 ★10061 回 麦草峠から丸山・高見石 A 中級

コース 麦草峠＝丸山＝高見石＝丸山＝麦草峠
 歩程 2 時間 5 分
 リーダー 三ツ谷征志 042(324)5854
 SL 大澤幸子 03(3576)4346
 備考 ①丸山往復でも可。SL と白駒池から戻るのも可。
 ②早めに麦草峠に戻り山菜てんぷらを作ります。その為、山菜は JA 茅野か道の駅 ビーナライン蓼科湖で仕入れします。

コース 麦草峠＝雨池＝八住山往復＝麦草峠

その5
 ★10062 回 麦草峠から雨池・八住山 A 級

歩程 3 時間
 ポイント 山歩きの際は、寄るか、素通りするところをあえてゆっくり楽しみながら歩きます。



山行ルポ

★10028回

焼山～二子山

A中級

期日 1月22日(土)

このルポを引き受けた事などすっかり忘れていたのです。3月17日、一人で高尾山向かいの大洞山を登っていた時です。突然携帯がなりました。焼山～二子山レポの催促でした。早めに山行を切り上げ帰宅し、今、パソコンで芦ヶ久保、氷柱祭の写真を見たりヤマレコの山行記録を見ながら思い出しつつ書いています。

寒い日でしたがアイゼンは使いませんでした。取っ付きは、結構な勾配で苦勞しました。でもこの日の全歩行距離が8.2kmです。この短さに救われました。両山とも見晴らしも日差しも申し分のない頂上でした。下山した芦ヶ久保駅のテント屋台で飲んだ一杯が忘れられません。ところで私が会報のルポを読むのは、初めてのリーダーの山行に申し込もうとする時です。そのリーダーについて行けるのか？それが重要です。私の山は旨い酒を飲むためです。チャレンジ精神は全くありません。一番恐れる事はリタイアして、リーダーの山行をダメにしてしまう事なのです。そんな目的なので、読みたいルポは、ヤマレコにあるような、写真とチョイ書きと時間が載っているものです。会報に写真は載せられませんから、そろそろホームページに会報を載せて欲しいものです。勝手ながら本音です。以上よろしく願いいたします。(藤田 弘治)

(参加者) L阿武 信夫・SL網代 節子・藤田 弘治

中島 水保子(計4名)

(コースタイム)芦ヶ久保駅8:50—雌岳—二子山10:55—雄岳—焼山12:25—雄岳—二子山13:20—雌岳—芦ヶ久保駅15:05

★10036回

日光街道つまみ歩き(その4)

越谷宿と越谷梅林

A級

2月23日予定を変更し3月2日(水)

今年の冬は寒かったので梅の開花も遅れたようで、1週間延期になりました。コースも最初の計画と逆です。まず北越谷駅に10時半集合、歩き出すとすぐに浄光寺に着く。紅白のミニ梅が迎えてくれて、その先にはお地藏さまが並んでいた。本堂は比較的新しく平成7年再建と書いてあります。お庭には立派な松の木が2本あり皆で見上げる。池もあり鯉はと探すが見えない。防火用と書いてありました。

お寺を出て右折し、しばらく歩くと元荒川に突き当たり、土手を上がって元荒川緑道を歩きます。歩きやすいが自転車や散歩の人、犬もいてにぎやか。しばらく歩くと右手に公園があり、メタセコイヤの木が並んでいる。続いて竹林があり竹の子は生えるのかしらねなど話しながら行くと、今度は桜の木が並んでいた。咲いたら見事なことでしょう。

ほどなく「梅林公園」の入口があり、梅林ありだがまだ2、3分咲きでした。ここで昼食休憩。東屋で食べる人、日向で梅を眼前に食べる人、駅で買ったカニ弁当の人もいれば、私はしがない手作りのおにぎりだった。近くに紅梅を見つけ、その下を見ると黄色いリュウキンカも咲いていた。

その後は車道に出て歩き出すと宮内庁の鴨場があり、さらに進むとお寺らしくない寺があり、水子地藏がきれいにまつられていた。再び車道歩き、やたらと大型車の往来があるので、向かい側の歩道に渡りたいところだが横断歩道もなく、やむなく車線に沿って端を一行に並んで歩く。

マンションの前に井戸があり、非常用とのこと。ようやく右手に北越谷駅が見えたがそのまま直進、古民家群に行く。とっても古い倉が残っていたり、今にもつぶれそうな造りの金物屋さんがあり、ブリキのバケツやジョウロ、湯たんぽとドラマのセットに出てきそうだが現役みたい。次には、はかり屋さんがあり路地を入ると旧大野邸とある。2018年にレストランを備えた古民家複合施設になっているが、今日は休業日では見られない。路地奥の遊佐農場は開いていて、かぶ、大根、白菜、ヤーコン、菊芋など珍しい品があり、

食べ方も教えてくださったが、荷物になるので買わなかった。

店の人に次の駅まで15分だよと教えられ、街道をさらに南へ進むと越谷駅入口の交差点に着く。駅へ行きたい人と市役所に寄りたいたい人として、ここで解散。平地歩きで16,800歩と少なかったが、結構疲れた。国道4号線、日光街道だと後で分かった。地図で見るとまだこの街は、野鳥の森、植物園、能楽堂、いちごタウンなど見どころ満載のようだ。雨の予報から日だまりハイクになり楽しかった。余談ですがこの3日後近くの小金井公園を散歩すると、丁度梅は満開でした。(植村早苗)

(参加者) L 森田準之助・三田村久子・熊沢美恵子・植村早苗・中里 薫・小林美智子・石川泰男・横塚征一郎・藤田弘治・ゲスト2名(計11名)

(コースタイム) 北越谷駅 10:40—浄光寺 10:50—11:00—元荒川土手 11:05—梅林公園(昼食) 11:45—12:40—北越谷駅入口 13:25—はかり屋 13:40—50—越谷駅入口(解散) 14:30

★10038回

入山尾根から舟子尾根

A中級

期日 2月27日(日)

JR高尾駅に集合し美山町行のバスに乗り萩園バス停で下車し琴平神社より出発する。

石の鳥居、木の鳥居をくぐり社殿には少し雪が残っていた。脇道から尾根道に入り370m圏の3つのコブを越え390m圏から北方に採石場が見下ろせた。386mの向山に着く。ここから何の迷いもなく赤テープの方に進んでしまい間違いに気づき、登り返してやり直して約25分のロスをしてしまう。そして岩稜の登り返し、ここはきつかった。

一つ石山(536m)で昼食にする。陽気は暖かいのに春一番の風だろうか?吹く風は冷たく感じられた。

採石場を見ながら草木の上には雪が残っていてまるで雪山に来たみたいだった。尾根に登り行くと途中で道が無くなり、採石場に入ってしまった。どうしても早くここを突破しなくていけないので砂山を這い上がり、イバラの道を下り、服には棘がひっかり、顔は傷つき、やっと道らしき所へ、トラバースしながら登りやっとゆっくり出来る車道に出た。ここで大休憩をした。まだ先があるので尾根道へ登ると一般道にでた。沖ノ窪峰、豆佐嵐山と進み、五日市方面(今熊神社)の標識が出た。これで少し安堵する。7号の鉄塔をめざし進む。この辺も少し雪が残っていた。

林道に17時前下山出来たが、更に30分程歩いて沢戸橋バス停に着き、武蔵五日市駅へ、拝島で反省会となった。低山であったが誰にも会わず、登り下りが多くて結構きつかった印象でした。(中島水保子)

(しより)採石場が拡張工事をしていて通過するのに時間を取られ参加者に苦勞をかけた。入山尾根はこの拡張工事により消失したと思う。

(参加者) L 熊澤美恵子・藤沼淑江・中島水保子(計3名)

(コースタイム) 萩園バス停 8:55—琴平神社鳥居 9:25—琴平神社 9:40—向山 11:30—一つ石山 11:50—尾根へ 14:00—沖の窪西峰 14:30—豆佐嵐山 14:50—7号鉄塔 16:25—林道 16:50—沢戸橋バス停 17:15



★10040回

川越街道藤久保宿周辺

A級

3月5日(土)

目先を変えて川越街道を歩くことにする。川越街道は戦国時代太田道灌が江戸と河越(川越)を結ぶために作ったといわれる。その後群馬県の藤岡まで児玉街道として伸ばされ、中山道のバイパスとして利用されたそう。

昭和に入り重要道路として拡幅されたり移し替えられたりしているが、所々並木道が残っていて昔の風情が偲ばれるところがある。今日はその一部に触れてみようという企画である。

鶴瀬駅で降りて、まず立ち寄りとした公園と神社が見つからない。私が頼りにした案内図と現在の道や建物の様子があまりにも変わってしまって、何人もの住民に聞いてもよく分からない。やむを得ず駅から西へ伸びる大通りへ戻って、やっと街道へ出ることが出来た。着いたところは、杉並木の中央分離帯の南の端で、庚申塚があり、また大きな「川越街道」と書かれた石碑が立っていた。

街道を南へ進む。車の多い道で大型店やレストランが並んでいる。広源寺という寺がありその境内でひと休みした後、スシローという回転寿司店を見つけそこに入った。新式の店で食べ物を注文するのにオロオロしながら何とか食い終わることが出来た。

この辺りからまた中央分離帯が現れ、今度は櫛の並木道だ。更に街道を進み、みずほ台駅入口を過ぎた辺りから左の脇道に入る。目指すのは三芳町の歴史民俗資料館だ。見学ののちここで道を聞いて、こがしの里へ向かうが、竹間沢へ下ることが分かり、その前に高台にある泉蔵寺と竹間神社に寄ろうと引き返す。しかし何の特徴もない寺社だった。これなら沢に沿って歩いた方がよかったなと思いつつも、参加の皆さんには何も言わずそのまま奥へ進み、浦所バイパスを横切り、竹間沢東公園で最後の休みをとる。あとは志木大橋を渡って柳瀬川駅に辿り着き解散した。

(森田準之助)

(参加者) L 森田準之助・武井光子・井上恵子・今西光輝・奥山富士子(計5名)

(コースタイム) 鶴瀬駅 10:05—川越街道庚申塔 11:15—広源寺 11:30—スシロー 11:50~12:30—三芳町資料館 13:30~50—こがしの里 14:00—泉蔵院 14:15—竹間沢東公園 14:35—柳瀬川駅 15:15

★10043 回
鐘ヶ嶽から不動尻のミツマタ群生地 A中級
期日 3月19日(土)

本厚木駅近くの厚木バスセンターからバスに乗り、広沢寺温泉入口で下車。緩く車道を登っていくと、左手に浅間神社へと続く石段が見えてきた。

信仰の山道らしく、一丁二丁(廿八丁までである)と彫られた小さな石仏に見守られるように進んでいくと、展望の良い「^{のぞ}覗きの松二代目」に着く。市街地が望め、薄曇りながらも気持ちがいいが、上ってくる風はまだ冷たい。

ここから先、苔むした長い石段を経て浅間神社に着

いた。右手のベンチ前には2本の桜の木が花を咲かせ、赤く大ぶりの椿もまだまだ咲いていた。しばし昼食休憩の後、わずかに登るとそこが鐘ヶ嶽山頂だった。展望はなく、古い2体の石像が置かれていた。

山頂から20分程で山ノ神分岐。ここは右手の「らくらくコース」を下り車道に出て、今日のもうひとつの目的「ミツマタ群生地」へ向かった。群生地は大山三峰山の下山口で、辺りのある一帯が薄黄色で埋まっている。また程よい甘い香りに包まれていて、知らずにこの群生地に出会ったら、それはそれは感激することだろう。

満足のうちに山ノ神隧道の真っ暗なトンネルを抜け、鐘ヶ嶽バス停まで歩き帰路に着いた。(山本悦子)

(参加者) L 服部千重子・井上恵子・今西光輝・奥山富士子・熊澤美恵子・藤田弘治・山本悦子・横塚征一郎(計8名)

(コースタイム) 本厚木駅—厚木バスセンター—広沢寺温泉入口バス停 9:43—登山口 9:56—覗きの松二代目 10:50—浅間神社 11:23~46—鐘ヶ嶽 11:50—山神峠分岐 12:16—林道 12:30—不動尻 12:50~13:25—鐘ヶ嶽バス停 14:35—本厚木駅

★10045 回
北本の桜めぐり A級
期日 4月1日(金) 3月29日(火)を変更

今年も桜開花宣言は出たものの、寒暖の差が激しく山行予定が3日遅れで実施された。花冷えの日だったが青空のもと、桜めぐりにはぴったり。Lの配慮に脱帽。

北本駅を出ると西に向かう大通りに早速桜並木が出迎えてくれた。比較的若い定番のソメイヨシノ、シダレザクラ、ヤマザクラ等々これから咲くものもあり、長く楽しめる様に配慮されている。車でゲットした桜マップに従い、氷川神社、須賀神社、巖島神社の境内へ。そして阿弥陀堂の墓地の中に佇むエドヒガンザクラは市指定の天然記念物である。

その裏手にカタクリ自生地があり、ロープで保護された奥の方に下向きのカタクリの花が少し咲いていた。満開時期はまだのようだが何か得した気分！続いて高尾さくら公園は広く、ふるさと各地から寄贈された30種もの桜が次々と咲き、多くの人出で賑わう。私達もランチタイム。

その後、コースに従い荒川左岸の水辺公園、荒井橋を通過し少々冷たい風の中、桜と菜の花のロードを進み、城ヶ谷堤の桜祭り会場では、熱々のたこ焼きをご馳走になる。

次は放光寺で大木のシダレザクラを見て、子供公園で小休止、最後の目的地、東光寺にたどり着くとさすがに大勢の入出。ここの境内にある「石戸蒲ザクラ」は国指定天然記念物で樹齢 800 年を誇る。それは見事！太い幹と左右に広がる満開の桜の雄大さに圧倒される。北本市のシンボルと納得する。また、この一本桜は他に三春の滝桜(福島)、山高の神代桜(山梨)、下馬桜(静岡)、根尾谷の薄墨桜(岐阜)と共に日本五大桜として国指定天然記念物になっているそうです。

東光寺の裏手から帰路に着く途中、北里大学メディカルセンターの所で北本駅行のバスが止まっていたので乗車。

今年のお花見はいつもと違う思い出深い花見となりました。(奥山富士子)

(参加者) L服部千重子・井上恵子・今西光輝・奥山富士子・熊澤美恵子・藤田弘治・三橋ヨシエ・山崎玉枝・横塚征一郎(計 9 名)

(コースタイム・見学時間含む)北本駅 10:30—氷川神社 11:00—阿弥陀堂 11:29—阿弥陀堂・高尾さくら公園 11:27~12:40—城ヶ谷堤 13:30—放光寺 14:00—子ども公園 14:15—東光寺・石戸蒲桜 14:15—北里メディカルセンターバス停 15:00=北本駅

10046回
日光街道つまみ歩き(その5)
幸手宿と権現堂堤
3月30日(水)

A級

幸手駅で集合、我が家から結構遠いことを実感する。駅から東へ歩き、旧日光街道の幸手駅入口交差点に。この角に岸本家住宅がある。国登録文化財とのことだが元醤油屋がカフェに改造されている。ここから日光街道を北へ向かう。広い道の両脇には古い構えの商店が点在するが、旧街道を彷彿とさせるような建物は少ない。旧陣跡の角を左折し先ず満福寺に向かう。次に立ち寄ったのは幸宮神社、どちらもがらんとしている。芭蕉の句碑のある聖福寺は割愛して再び旧日光街道に戻ったのち、荒宿の信号から東へ道をとる。浅間神社を過ぎると今の日光街道だ。これを横切りさらに進むと先方に桜並木が望める。最後に熊野神社に至りその先から堤防に駆け上がるとそこが権現堂堤だった。権現堂なる建物は何処にあるのだろう。

堤はまさに満開の桜並木に覆われている。結構人も出ている。桜と対をなす菜の花畑が場所によって不揃いだったのは一寸残念だった。桜の下で昼食とする。

ゆっくり休んだのち桜堤を北上し、桜が切れたところで堤を離れる。左方に見える東武電車の線路を頼りに南栗橋駅を目指して歩く。私はすぐ休んでしまうので、誰かが途中で待っていてくれる。やっと着いた駅でまた一休み。

皆揃って電車に乗ったが、まだやるものが残っている。新越谷駅で全員下車し、黒田さん推奨の飲み屋に入る。打ち上げだ。コロナ対策も禁煙も頓着ない店の対応に嬉しくなって気炎を上げた。(森田準之助)

(参加者) L森田準之助・三田村久子・横塚征一郎・黒田 正(計4名)

(コースタイム) 幸手駅 10:05—岸本家住宅 10:20—満福寺 10:40—幸宮神社 10:50—旧日光街道へ出、荒宿交差点を右折—浅間神社 11:10—現日光街道を横切り熊野神社 11:45—権現堂堤 12:05~13:20—南栗橋駅 13:40—新越谷 15:00



低山だより

◎5月の山行プランについて

本5月号掲載の山行プラン10本(グレードの内訳、A級3本、A中級5本、A上級2本が3月31日の役員会で了承されました。

◎令和4年(2022年)6月の編集委員会は6月14日(火)、集会・役員会は6月29日(水)です。

◎会員動向 ◇退会 福地紀代司、森下善雄、坂井郁子、田仁代、佐藤谷子 以上5名(3月31日付)

◎3月31日の集会出席者(順不同)

阿武信夫・服部千重子・熊澤美恵子・奥山富士子・植村早苗・武井光子・井上恵子・山崎玉枝・山本悦子・三田村久子・金沢正秋・今西光輝・眞鍋雅光・村川征津子・横塚征一郎、三ツ谷征志、三橋ヨシエ、石川泰男 計18名

お悔み

1991年(平成3年)入会され、長年総務キャップを務められた坂井郁子さんが去る4月3日に逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。在職中の経験を活かされて総務の改革に務められ、また、後進の指導にもご尽力され今日の低い山を歩く会の総務の基盤を作られたことに深く感謝いたします。

また、個人的にも北アルプスのテント山行、有雪期のテント内でのてきばきした采配に感心したことを思い出します。ご冥福をお祈りいたします。

*なお、今回3月31日付で退会されていますが、長年会への貢献に感謝し追悼文を掲載することにしました。

従来例と異なることのご指摘があるかと思いますが、今後はその都度状況に合わせ掲載を検討していきます。

ご了承ください。

低い山を歩く会 会長 阿武信夫



低山 通巻683号 2022年5月号 発行/2022年5月1日発行) 発行人/阿武信夫(低い山を歩く会会長) 発行所/低い山を歩く会 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 7-3-3 ☎048-822-7228 頒価/300円(送料120円) 編集委員/三田村久子・浜橋保代・金沢正秋・山崎玉枝・伊東栄子・横塚征一郎 版下作成/横塚征一郎 〒185-0021 東京都国分寺市南町 1-7-11 TEL&FAX 042-323-6080